

# AREA WEB エリアウェブ

峡東教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
TEL 0553-20-2731  
FAX 0553-20-2733

## 「チーム峡東」子どもたちの笑顔のために!

峡東教育事務所 地域教育支援 主幹 筒井 寿

「チーム学校」という言葉を聞いたことがあると思います。「チーム学校」の考え方は、これからの社会を生き抜くために必要な資質や能力を身につけた子どもを育成するため、学校組織全体が一つのチームとなって力を発揮することで、学校全体の総合力を高めていこうとするものです。簡単に言うと、担任や教員があれもこれもやってきたことを、事務職員、図書館司書、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、外部指導者等、教員とは異なる専門性や経験を持った専門的スタッフが分担して指導すること、教員が授業に専念できる体制をつくることで、協働して子どもを育成していこうとするものです。

ここ峡東地域3市では、教育・子育てに関わる関係機関が中心となり、平成18年8月に「峡東地域教育推進連絡協議会」(略称:峡地連)を設立しました。『地域の子どもは地域で育てる』との考えの下、それぞれの組織・機関が協力し、専門性を生かして子どもの育成を進めようとする峡地連の活動は、正に「チーム峡東」の考えそのものであり、「チーム学校」が提唱されるより10年程前から、みんなで地域の子どもを育てていこうという協働の考えが根付いていたこととなります。

峡東教育事務所の地域教育支援担当として、今年度も管内を中心にさまざまな活動に触れる機会をいただきました。教育委員会、子育て支援、生涯学習、社会福祉、福祉保健、子育てセンター、児童館、障害児支援施設、青少年育成協議会、青年会議所、保育所、幼稚園、各種学校等、非常に多くの方々で地域の子どもの育成に携わっていることを、身をもって実感することができました。

今後、より多様な価値観が求められる社会において、子育てや教育の専門的な知識や経験を持つ多くの人々が、連携して子どもの育成に関わる事が一層必要となってくるはずです。峡地連の活動が「チーム峡東」の一翼を担い、明日の子どもたちの笑顔につながる活動になるように、これからも取り組みを進めていきたいと思ひます。

### H30年度 表彰校一覧

今年度、管内の学校、幼稚園で以下の取り組みが表彰を受けましたので、ご紹介します。

平成30年度地域環境保全功労者表彰(環境省)  
優良PTA文部科学大臣表彰  
「早寝早起き朝ごはん」運動文部科学大臣表彰  
山梨県環境保全功労者表彰  
山梨県健康推進優良学校  
山梨県準健康推進優良校  
山梨県口腔衛生優良学校 山梨県歯科医師会長表彰  
おもてなし山梨知事表彰

山梨市立笛川小学校  
山梨市立つつじ幼稚園  
笛吹市立石和西小学校  
山梨市立八幡小  
山梨市立加納岩小学校  
笛吹市立一宮北小学校  
甲州市立奥野田小  
笛吹市立芦川小学校

### カラー版をご覧ください

『エリアウェブ』はカラー版を峡東教育事務所のホームページで掲載中です。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、ホームページを開いて下さい。是非ご覧ください。



エリアウェブ  
ホームページ

ホームページアドレス

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/chiiki/areaweb.html>

### ご意見をお寄せください

◎『エリアウェブ』のご意見・ご感想・取材情報をスタッフ一同お待ちしております。右のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールでご連絡いただくか、表紙右上の連絡先にご連絡下さい。



お問い合わせ

E-mail アドレス

[kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kyoiku-hym@pref.yamanashi.lg.jp)

今回は掲載しきれなかった記事を「エリアウェブ 番外編」としてホームページで公開しています。

## 桃花ダイスキマーケット

桃花台学園

11月17日(土) 桃花台学園で、本年度第6回目の桃花ダイスキマーケット『秋の大収穫祭』が開催されました。生徒会長の爽やかな挨拶、太鼓部の勇壮な音色、そして各コースからの気持ちの込められた宣伝がオープニングセレモニーを飾りました。11のブースが一斉に販売開始となり、続々と訪れるお客様の接客に少し戸惑いながらも生徒たちは一生懸命に働いていました。生徒達の意気込みが通じたのか心配された天候も嘘のように晴れ渡り、オープン前から多くのお客様が来場し、活気に溢れたイベントとなりました。



## 出前授業 サンドブラスト体験

県立産業技術短大 in 塩山南小

12月10日(月)、塩山南小学校において県立産業技術短期大学校・松田剛准教授による『オリジナルグラスを作ろう!』と題した出前授業が行われ、科学工作クラブの児童17名が参加しました。松田先生から大まかな説明を聞いた後、まず無色透明なガラスの表面に模様となるシールを貼り、次いでサンドブラスト装置を使って砥粒(とりゅう)という細かな砂の粒をガラスに吹き付けて表面を削りました。その後、シールをはがすと、シールの部分が透明で周囲が曇りガラスのようになる独特な風合いのグラスが完成しました。児童たちは犬、猫、船、飛行機、星、月、海藻、貝殻、足跡など様々な模様を選び、自分なりの模様のレイアウトを工夫しました。また、細かなシールをはがす作業に集中し、サンドブラスト装置も興味津々に操作しました。完成したグラスは十人十色で、割れないように紙を幾重にもして包み、大切に持ち帰りました。



## ウィンターコンサート

八代小

12月19日(水)、八代小学校では、峡東地域唯一の金管バンドがウィンターコンサートを開催しました。同校体育館には全校児童約450名と先生方、保護者、地域の方々が集まりました。バンドメンバー21名は日頃の練習の成果を發揮し、「恋人たちのクリスマス」「U・S・A」「白雪姫と七人の小人たち」など計6曲を披露しました。会場の児童たちは、曲に合わせて、口ずさんだり、手拍子を叩いたりして楽しみました。プログラム終了後には、「アンコール! アンコール! ..」の声が鳴り響き、会場総立ちで「U・S・A」を再び身体を使って楽しみました。会場の皆様にとっては一早いクリスマスプレゼントになったようでした。



## 町探検・お店見学のお礼に行ってきました!

石和南小

12月19日(水)、石和南小学校の2年生47名は、町探検のお礼のため、地元の市部(いちべ)本通りの商店街を訪問しました。2年生は3つのグループに分かれ、町探検で訪問したお店に行き、お礼の気持ちで描いた各お店のポスターと子どもたち植栽したピオラを渡してきました。子どもたちから「1学期はありがとうございました。お礼のポスターとお花です。良かったらお店に飾ってください。」と、感謝の気持ちを表しました。お店の方からは「ありがとう。またいつでも遊びにおいて。」と、笑顔で声をかけられ、子どもたちは、「はい」と、笑顔で返事をしていました。「町探検」の学習を通して、子どもたちが地域を知り、地域の人々と交流する貴重な機会となりました。

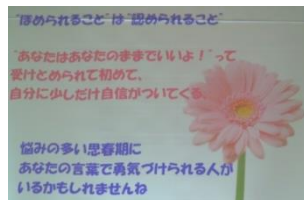




## 自分を大切にすること

笛川中学校

11月14日(水)、笛川中学校で3年生を対象に山梨市健康増進課思春期事業としてエイズ予防講演会が行われました。この講演会は山梨市内の全ての中学校で実施されているそうで、講師を務められたのは健康教育アドバイザーの山田七重先生でした。前半はエイズの基礎知識について学び、「自分で守らないと守れない時期にきている。自分を大切にすることは相手を大切にすることでもある。気をつけて欲しい。」とアドバイスされました。また、後半は思春期の過ごし方について触れ、「寂しいと感じる時は、読書をしたり、音楽を聴いたり、勉強に打ち込むのもいい。周囲と関わりを持ち、友だちとつながり、大人の助けを借りたりしよう。一步一步自分のペースで楽しく思春期を過ごして欲しい。」とメッセージが送られました。



## Child abuse (チャイルド・アブユーズ)

山梨市子育て支援課

11月15日(木)に山梨市役所で山梨市児童虐待防止ネットワーク実務者研修会が開催されました。市内の教員や保育士、市職員を中心に約90名が参加しました。講師は山梨県立大学の西澤哲教授が務められました。先生によると、児童虐待は英語では'Child abuse (チャイルド・アブユーズ)'という言葉になるそうで、日本語では「子どもの乱用」と訳すこともできるそうです。虐待というと親の悪意ある行為のイメージが強いですが、児童虐待の背景には、経済的困窮、協力者のいない孤立した育児環境、親の抱えている病気、親が育てられた養育環境等の複数の要因が関係しており、単にその親だけが悪いという問題とも言えません。また、被虐体験は子どもの発育・発達に大きく影響を及ぼし、多彩な症状を示すことがあるようです。虐待を未然に防ぐために、地域や行政、教育など周囲の理解と支援が大切であると感じました。



## ネット社会にひそむ危険性

一宮北小

1月22日(火)、一宮北小学校では「ケイタイ・スマホ学習会」が開かれました。会場には5・6年生43名と校長先生を始めとする先生方や保護者が約10名参加しました。講師には山梨県警少年対策官・加藤克人氏が招かれました。スマホやタブレットの普及により、今や小学生のインターネット利用は急速に広まっています。児童らは、SNSについて、ゲーム障害やネットいじめ、写真や動画の掲載の危険性などの説明に真剣な眼差しで耳を傾けていました。加藤対策官からは「トラブルを防ぐためには使い方のルールやマナーを決めること、フィルタリングを使用することは不可欠である。」と助言がありました。講演後には児童・保護者からの多数の質問があり、また、児童の感想発表では「スマホとどう向き合うか学ぶことができた。パットを使っているが、使い方について家族と話し合いたい。」と真摯な発言があり、関心の高さが伝わってきました。



## 地震が来たら机にもぐる?

県教育委員会

県教育委員会は1月25日(金)に山梨高校において実践的防災教育推進事業成果発表会を開催し、山梨高校とろう学校が実践報告を行いました。山梨高校は、これまでの防災教育に加え、生徒代表による被災地ボランティアや保護者対象の講演会などを開催し、防災意識をさらに高める取り組みを行いました。また、ろう学校では、避難所設営訓練やパトライトの設置の工夫などを行いました。また、実践発表に続き、山梨大学の秦康範准教授による講演が行われ、小学校での抜き打ち訓練の様子が映像で紹介されました。校庭で遊ぶ児童等は地震発生(想定)時に、校庭から教室に避難していました。これは、避難訓練における「机の下にもぐる」指導の弊害だろうと指摘されました。今後、南海トラフ地震や富士山噴火などが危惧される今日、より適切な実践的防災教育の必要性を実感する機会となりました。







# 山梨県立山梨高等学校

## 「めんどろみ」ism

職員室前には「質問コーナー」が設置されており、日常的に質問をする生徒の姿が見られます。またそれだけでなく、二者懇談にも利用され、生徒と先生とのコミュニケーションの場となっています。この「めんどろみism」は梨高の校風であり、生徒同士が助け合う場面も多く見られます。

## 「頑張り」ism

県総体などで多くの部が活躍しています。今年度は陸上競技部、卓球部が関東大会出場を果たし、文化部でも吹奏楽・囲碁将棋部が県外大会に出場しました。学園祭においても、クラス全体が一丸となり紡ぎ出す生徒達の絆には感動するものがあります。“頑張り”を通じて仲間と友情を育んでいます。



## 梨高イズム

『梨高イズム』とは、梨高で大切にしている教育理念を、5つの「ism」(主義・理念)として掲げているもの、それが梨高イズムです。こうありたい・こうあってほしいという生徒と教職員の姿を象徴しています。

校訓「至誠無息」(常に誠実であることを目指して怠ることなく自分を磨く)の教えをもとに、梨高イズムによる教育活動に力を入れています。



## 「自立」ism

時間に管理されるのではなく、「自分で時間を管理する」をモットーに、梨高では「ノーチャイム」を実施しています。「早めの行動が意識できるようになった」と、生徒からも好評です。また、遅刻や欠席が少ないことも、高い自己管理能力を身につけていることの現れです。“自立ism”により、自身の将来を構築していける社会人を目指しています。

## 「思いやり」ism

ひとに優しく、仲間を思いやる人であってほしいと、毎年生命(いのち)の授業を行っています。実際に何組かのお母さんと赤ちゃんに参加していただき、共に学ぶ中で、自分がどのように生まれ、どのように周囲の人たちに育てられてきたのか、再確認しています。このような体験が梨高の「思いやりism」を育てているのです。



## 「未来」ism

生徒それぞれの進路実現のために、少人数授業や個別指導をはじめ、土曜課外・長期休業課外などの進路指導に力を入れています。土曜課外は大学進学希望者に対して年間15回、予備校講師を学校に招いて講義をしています。昨年度は国公立大学10名をはじめとした100名を超える生徒が大学や短大へ進学しました。自身の豊かな未来を実現すべく、日々努力しています。



## 「Classi」導入

平成30年度入学生より教育支援プラットフォームの「classi」(クラッシー)を導入しました。生徒個人のスマートフォンや学校のタブレット、パソコンから「classi」にログインし、学習や行事などの様々な活動を記録していくことで自らの成長を振り返ることができます。また、生徒、教員、保護者間のより細かな情報共有、情報伝達がいつでも可能になります。この他にもアンケートなど様々な機能が活用でき、生徒の学校生活をサポートされています。  
(Classi株式会社・・・ベネッセとソフトバンクの合併会社)



号外  
AREA WEB  
**エリアウェーブ**

峡東教育事務所  
地域教育支援スタッフ  
TEL 0553-20-2731  
FAX 0553-20-2733

### 笛吹市御坂町文化財視察

### 山梨県社会教育の会

10月15日（月）山梨県社会教育の会では26名が集まり、笛吹市御坂町の文化財を巡り、学習会を行いました。山梨県立博物館に集合した後、姥塚古墳の石室を見学し、美和神社では宮司様より歴史について学び、所蔵品を拝見させていただきました。また、美和神社は台風24号により、参道や境内に植えられたヒノキやスギ約160本が折れたり、倒れたりしており、台風の猛威を実感しました。



### 若手教員研修会

### 山梨大学 山梨県教育委員会

10月18日（木）、峡東地域の若手教員を中心とした小中高の先生方44名が東山梨合同庁舎101会議室を埋め尽くしました。山梨大学と山梨県教委の連携事業として行われた研修会で、山梨大学の堀先生からは授業改善を図るための学習評価として一枚ポートフォリオの活用について「学習プロセスを可視化することが学習者の変容につながり、教師がいなくても学んでいけるようになる」とのお話がありました。その後、武蔵野市第五中学校の辻本昭彦先生から実践事例が紹介され、学習の本質とは何かについて考えるグループワークも行いました。参加された先生方は意欲的に研修に取り組み、実り多い研修会となりました。



### インターンシップ part2

### 笛吹高校・日川高校

11月下旬、笛吹高校は1年生全員がインターンシップを実施しました。また、日川高校では、本年度の授業や行事の中で就労体験を実施しました。皆、働くことの面白さや大変さを学びました。



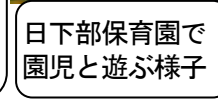
信玄食品で、指導を受けながら山梨の名産・煮貝のカット作業をする様子



県立博物館で来館者に展示物を紹介しながら館内へと御案内する練習の様子



タイ王国海外研修で、英語でコミュニケーションを図りながら製品の梱包作業をする様子



日下部保育園で園児と遊ぶ様子